

第 25 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2015 年 7 月 14 日(火) 10:00~12:00

場 所：横田地区コミュニティセンター集会室

出席者：15 団体 19 名

進行：酒井（事務局）

文責：佃（事務局）

1. 事務局連絡（10:00~10:05）

➤ 第 18 回運営委員会 実施報告

前回の調整会議で、16 団体から回答をもらった「まちづくりプラットフォームの考える陸前高田のまちのビジョン」のチェックを踏まえ、今後のビジョンづくりについて改めて議論。

集計結果は、各団体がやってきたい分野等も見られ今後への指標となるが、回答数が十分ではないとの意見が出されたため、今後、もう少し団体数を増やし可能であればヒヤリング含めて進める。回答いただいた 16 団体へは、後日メールで集計結果をお知らせする。

➤ 陸前高田 NPO キャラバン in 東京 開催報告

7 月 11 日（土）に東京の立教大学（池袋キャンパス）で開催。

内容は、市長の基調講演、市長とのディスカッション、陸前高田の NPO 等 11 団体とのフリートークで、約 170 名が参加。イベント詳細は、今後ホームページや Facebook で報告予定。

当日の参加や、広報のご協力ありがとうございました。

➤ 2014 年度 支援概況調査 集計経過報告

集計した数値の精査中。今月中にメールで共有予定。

2. 活動報告（全体）（10:05~10:）

- ・全参加団体より活動報告およびイベント告知など共有
- ・質問あれば適宜。各団体 2~3 分程度で報告

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 25 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載

◆活動報告

1~2	大船渡地区被災者相談支援センター／柁屋	<p>7/30（木）に、大船渡市内の復興の現場見学会を開催予定。</p> <p>定員 40 名で、現在 20 名程が申込み。</p> <p>8/7（金）～9（日）に住宅再建相談会開催予定。陸前高田は 8/9 の開催。午前中の会場が市役所からコミュニティホール大会議室に変更。ファイナンシャルプランナーには、住宅再建をする際の生活費のやりくりや、自分に合った住宅ローンの組み方等を気軽に相談できる。また、住宅再建の契約に関するトラブルも起きており、弁護士に相談する中で、注意事項等も聞くことができるので、ぜひ利用して欲しい。</p>
3	いわて生協／池田	<p>バスボラ・ふれあいサロンを継続中。</p> <p>移動販売「にこちゃん号」が 7/20 からコース変更。今まで週 3 回（月水金もしくは火木土）だったが、災害公営住宅の建設や仮設住宅入居者の減少に伴い、月木・火金・水土の週 2 回にし、廻る箇所を増やす予定。</p>
4	いわて連携復興センター／葛尾	<p>7/11 の NPO キャラバンに参加。東京からの参加者が多かったようで、これからどのようなかたちで関わっていけるか、ボランティアで関わっていききたいという話を受けた。</p> <p>7/18（土）14:00～17:00 にシンポジウム「一人ひとりが大事にされる新たな災害復興法を目指して」が盛岡で行われる。</p>
5	ジャパン・プラットフォーム／高久	<p>JPF の今年度の方針。年に 4 回の資金助成を今年度も継続。セーフティネット支援・コミュニティ支援・生業支援・コーディネーションサポート（中間支援）の 4 分野。重点項目は、①被災者の移動が進まない仮設住宅・みなし仮設住宅への支援、②行政の支援が届きにくい社会的弱者への支援とそれを支える地域社会づくり、③行政の支援制度が整備されていない生業・経済復興支援、④支援者と支援団体をつなぐ連携調整。次回「共に生きる」ファンド募集は 8/3（月）～/10（月）。</p>
6	高田大隅つどいの丘商店街／山本	<p>7/11 にきらりんきっず主催で「夕涼み会」を開催。お父さんを含む家族連れの参加も多く盛況だった。今後も家族で交流できるイベントを行っていききたい。</p> <p>7/17（金）～19（日）未来商店街で「スマイルチャージ</p>

		フェスタ」を開催。商店街連携としてサポート。フェザンのサテライトショップの出店と、高田高校の書道部と美術部がデザインしたTシャツの展示(行く行くは販売)。子どもたちの社会参加のきっかけ作り、地元企業の長期的な沿岸支援として実現した企画。元々は、沿岸交流会でフェザンと未来商店街・大隅商店街がつながり形になった。フェザンでも展示場でイベントを開催される。チラシの配布協力をお願いしたい。
7	NEC ネットエスアイ(ひまわりハウス) / 村上	8/1(土)~5(水) 夏休みで閉館。 8 月半ばにイベントを企画中。詳細が決まり次第案内予定。
8	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン / 木下	「教育」・「子どもの保護」・「子どもにやさしい地域づくり」の3本柱で活動。奨学金事業、学童クラブの指導員向けの研修も開催。7/14(火) 13:30~「子どもサポーターになろう」子ども支援に携わる方への研修を開催。 8/2(日)~5(水) 子どもまちづくりリーダーツアー開催。復興庁に子どもたちの意見を届けることをメインに、東京のまちづくりの参考になる施設を訪問予定。
9 ~ 11	陸前高田市復興支援連絡会 / 志賀	仮設住宅でのお茶会を継続。 7/11のNPOキャラバンに参加し、関東の方々からどんなことができるか聞かれ、後方支援(支援者への支援)の重要性も提案した。今後、個人の支援者も受け入れて、多くの方とつながっていききたい。 会報「おはようさん」第一号を発行。Facebook ページも開設。
12	陸前高田まちづくり協働センター / 黄川田	7/13(月) 高田地区市民会議を開催。高田地区を対象に実施した地域づくりに関するアンケートの結果を共有し、感想と高田地区として大切にしていきたい事について議論。次回は8/27(木)、市コミュニティホールで開催予定。市広報で周知。市民会議について質問等があれば、協働センターまで。
13	もっちいと森の仲間たち / 望月	「タイマグラばあちゃん」上映会のチラシ配布の協力をお願いしたい。大槌で畑づくり、三陸町では花壇づくり、陸前高田ではモビリアと下和野災害公営住宅で畑づくりをしている。下和野では15名程が参加しており、増築する予定。

		<p>今後は、植林をしている団体と一緒に7/18(土) 気仙沼、7/19(日) 下和野、7/20(月) ヤルキタウンで活動予定。</p> <p>8月には九州から高校生の選抜チームがボランティアに来て、花壇等の草取りをする予定。自身が県の環境アドバイザーをやっているので、ニーズがあればお声掛けいただきたい。</p>
14	教育支援チーム「まつ」 ／佐々木	<p>新任の校長先生3名(小友小・東中・横田中)に直接会って話を聞いた。発達障がいを持つ生徒に関わる部分で悩まれているので、11月に当団体で先生方を対象に発達障がいに関わる学習会を開催予定。現在準備を進めている。</p>
15	陸前高田市社会福祉協議会 ／佐藤	<p>仮設住宅・公営住宅の見守り活動を継続。</p> <p>赤い羽根共同募金を通じて全国から頂いた募金で「無料移送サービス」を開始する予定。身体的金銭的な理由で公共交通機関を利用することが難しい方を対象に、市内の病院や市役所等への移動で利用できる。対象者は、介護保険認定を受けている方、障がい者等々の手帳を持った方、また対象者と一緒に生活している方。事前登録制。車が1台なので調整しながら行っていく。お問い合わせは、社協まで。</p>
16	難民支援協会／石井	<p>7/11のNPOキャラバンでは、協力ありがとうございました。</p> <p>陸前高田での活動は収束に向かっており、今後このような会議への参加が難しくなるが、以前からの課題でもある「東京から何ができるか」を考えつつ、今後も関わっていききたい。</p>
17～ 18	遠野山・里・暮らしネットワーク ／林・佐藤	<p>大槌と陸前高田の仮設住宅・災害公営住宅から(在宅も含む)、遠野に来て温泉でゆっくり交流してもらった「ほっとひといき事業」が5月半ばに再開。6月に西下災害公営住宅の住民、周辺住民(公営住宅6名と高台移転の方)合計13名が参加し好評だった。今後も仮設住宅だけでなく公営住宅も含めて実施していきたい。</p> <p>被災地の中継として、8月に東洋大学・法政大学の学生2週間ほど遠野を拠点に被災地へボランティアとして入る予定。</p> <p>8/11(火) 大阪のパルコープが、気仙川の復興花火大会</p>

		に協賛、模擬店出店予定。会場はおそらく未来商店街。出店する方がいれば一緒にできればと思うのでお声掛けて欲しい。
19	パクト／乗久保	7/11のNPOキャラバンに参加。お世話になりました。サポートステーション（ボランティアの受け入れ事業）は、お盆期間中8/10（月）～8/18（火）休止（ホームページにも記載）。他の事業は通常通り運営している。7/10二又復興交流センターが2周年を迎えた。これからも、陸前高田市がまちとして取り組んでいる“交流人口の増加”に少しでもお手伝いさせていただきたい。

3. 活動分野ごとの討議・意見交換（グループ議論）

◇「今後の連携・協力・サポート体制構築に向けた情報の整理と一覧化および意見交換」

<1G 地域・コミュニティ>

➤ 意見交換

- ・ 移行期の仮設住宅や災害公営住宅、自力再建・地域の方へのアプローチや課題の共有。
- ・ 復興の進捗状況の共有。
- ・ 自治会のフォロー（自治会のスタート時の支援）に関して、自治会が支援者に頼らないと運営できないという状況ではなく、運営をサポートしていく取り組みをしている大槌の事例を紹介。

陸前高田でこのような自治会の組織運営の支援をしているところは、なかなか浮かんでこない。

災害公営住宅の自治会のフォローだけでなく、防災集団移転等でコミュニティが新しく変わってきているところも見受けられるので、地域の自治会の組織運営のフォローも必要になってくる。

組織運営の担い手がいないのであれば、NPOが担える部分があるのではないかと。

<2G 子ども・教育/子育て・女性>

➤ 意見交換

- ・ 前回から継続して、子ども・親へのサポートそして学校との繋がりだけで本来のサポートといえるかを議論。今回、陸前高田市家庭児童相談室・陸前高田市福祉事務所・陸前高田市児童発達支援事業「ふれあい教室」について情報共有。
 - ・ 「土曜教室」についても話題に挙げたが、活動（事業）内容に関しての情報が少ないので、情報収集していく。
- 「土曜教室」や「ふれあい教室」に、支援団体の活動を知ってもらい、今後お互いの得意な分野でサポートしていくために、訪問を検討。

相手先の都合もあるので慎重に進める。

<3G 商工・観光・産業・その他>

➤ 意見交換

- ・ 周遊アプリ開発：通過型である陸前高田に観光客を滞在させることが目的。石巻の「イトナブ」に、事例紹介をしてもらう予定。3G のメンバー以外でも、興味のある団体は参加してほしい。石巻では小学生も参加、地元子どもたちにプログラミングに触れてもらう教育の機会にもなるのではないかな。
- ・ セタまつりについて
今年も開催が決まったが、関東や地元以外の方に周知されていないのではないかな？ 支援団体ができることとして、情報発信のサポート。、まず観光物産協会のブログをみんなでも共有する。ツール・ド・三陸等、情報発信の面でも協力していきたい。
- ・ スタンプラリー（新アイデア）
冬に向けて、三陸地域の温泉を巡ってもらう「温泉スタンプラリー」をやってみてはどうか。スタンプがある程度たまると特典がもらえるシステムで、遊んでくれる人が増えるのではないかな。
黒崎温泉では巡回バスがある等、既存の交通手段をまとめることも必要。

>Q、アプリ開発は、SAVETAKATA の復幸マップと連動できないか？（JPF／高久）

A、議論中、話にも出ている。

4. その他

- ・ 「キツネをさがせ！ in 陸前高田」の案内（PF 事務局より）
“キツネを探す”というミッションを通して、子どもたちが自分たちのまちを知る企画。8/9（日）に広田で園児・小中学生・父兄を対象に実施するが、このような企画を広く知ってほしいということで共有。

【次回の開催日程】

- ・ 第 26 回支援連絡調整会議
8 月 11 日（火）10：00～12：00 ※会場及び詳細は別途連絡